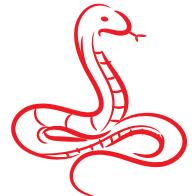




猿田彦ファームかわらばん2025～睦月～



皆様、明けましておめでとうございます。伊藤です。
お正月休み明け、数日ぶりに猿田彦BASEに来てみると、倉庫前の地面にこんもり土の山が6個。もぐらは年末年始も活動していたようです。
本年も挑戦を続け、小岐須町の発展に貢献できますよう、
邁進して参ります！
どうぞよろしくお願ひいたします。



✿✿ 珍客が訪れました

天気が良かったので窓や出入口を全開で社屋の片づけをしていたところ、珍事件発生。ワンちゃんがご来社！
あまりにも普通に入ってきたので、ビックリする間もありませんでした。その後、ワンちゃんはジビエ工房でお水を飲んで去っていきました（笑）

野生動物パトロール中に、ジビエ工房の鹿の匂いに釣られたのでしょうか？
ともかくにも、このかわら版のネタを提供してくれたことに深く感謝した出来事でした！！



・子供向け狩猟体験（2回目）を開催しました



12月13～15日、2回目の子供向け狩猟体験講座を開催いたしました。今回も全国から6組の親子にご参加いただきました。

子供向けのこの体験ですが、前回含め、実は子供より保護者の方から好評価をいただいている。

“自然と人間との食を通じた循環を考えたときに、欠けていたものが言葉ではなく、身体感覚で見つけられた”といった感想もいただき、現代の大人たちから失われつつある大切なものの、現代の暮らしと自然とのかかわり方のヒントがこの小岐須町の環境に残されているのではと感じています。

今後もこのようなワークショップを通じて、この豊かな環境を知っていただけるよう尽力していきます！



FM三重に取り上げられました



キャンピングカーのイベントで飲食出店時に知り合ったラジオ「FM三重」パーソナリティ一、シンガーソングカンパーの『あつ』さん。

キャンプやブルーベリー狩り等の体験にもお越し頂いたなど、懇意にご利用いただいていますが、今回なんと**FM三重**への生放送出演依頼を頂戴しました。

年始**1月6日**に放送された『あつの！キャンプde伊勢茶』のコーナー。このコーナーでは地元の特産品である伊勢茶を購入できるキャンプ場を取り上げて紹介しています。

我らがハンター大竹さんをFM三重スタジオに派遣し、猿田彦BASEのPRをさせていただきました。

お越しいただく皆様に鈴鹿のお茶もぜひお楽しみいただきたいです。



→YouTubeでも現地
取材を取り上げてい
ただきました！
ぜひチェックくださ
い！



猿田彦BASEにて土日祝日に行っていったカフェ営業ですが、本年より予約制の営業へと変更をさせていただきます。飲食はコースメニュー一とし、内容は未定ですのでまた決定後お知らせいたしますね！

また、その他飲食について

- ・ジビエBBQ
 - ・鹿しゃぶ

は引き続き予約制にて継続をさせていただきます。ジビエのお肉やペット用ジャーキーの店内販売もこれまで通り、火曜以外の10時～16時まで行います。（臨時休業あり）



猿田彦ファーム株式会社

〒519-0316三重県鈴鹿市小岐須町990番地

代表：伊藤 嘉晃（いとう よしてる）

直通Tel:090-1835-0277



猿田彦ファームかわらばん2025～如月～



皆様、こんにちは、伊藤です。
年が明け早くも2月。
今年も1／12が終わったことになります。
時が経つのが早すぎますが、残り11ヶ月
恵方巻と大豆でたんぱく質を補給し
邪氣を祓いつつ頑張ります。



鬼は外

福は内



ジビエ工房にて解体研修が行われました

昨年に認可を取得した三重県の衛生管理基準「みえジビエフードシステム」。

新たに登録された解体処理施設向けに、衛生的なシカの解体方法を指導する「みえジビエ解体研修」が私たち猿田彦山肉工房にて開催されました。

講師を務められたのは、津市のジビエ処理施設「スピリッツ」代表の古田洋隆先生。

古田先生は猟師であった父親の指導の下、小学生のころから鹿の解体をはじめ、多いときには年間に600頭の野生動物を捕獲する【伝説の猟師】と呼ばれている方。熟練の技を学び、私たちの製品もより安心して食べていただけるよう精進いたします。



狩獵体験講座を開催します



町の獣害対策委員として活動する猿田彦ファーム。全国的には猟師の7割以上が65歳を超えており、年々人数は減り、その捕獲活動が緩慢になりつつあります。野生動物に対して人間の生活エリアに入らないよう圧力をかける猟師の役割はとても重要ですが、各地域にこうした役割を担える存在を育成したいと思っています。とはいえ、非日常的な「野生動物を捕まえる行為」をいきなりやるのは困難です。そこで、ちょっとだけ狩猟の世界を垣間見る体験講座「チョイトひと狩」を開催いたします。ジビエランチ付きのこの講座、鹿の皮剥や罠の取扱などを見学・体験してもらう講座となっています。興味はあるけど、何から始めたらいいのかわからないという貴方、ぜひこのチャンスにご参加ください！



この瓦版も3年目に入り、多くの人々のご協力で運営していく中で鈴鹿山麓で活動する人々の横のつながりが本当にありがたく感じています。そうした皆様とこのエリアの魅力を共創していく意味をこめて、毎回、鈴鹿山麓地域の事業者、団体、スポットをご紹介させていただくコーナー【鈴之峰の麓人（すずのみねのふもとびと）】を本年より開始いたします。

第1回はライダーズカフェ【as one】様。

私たちが獣害と闘いながら栽培していたショウガを栽培していたころからのお付き合い。

モータースポーツの聖地鈴鹿にてオートバイのカスタムパーツを製造する

「(有)ウイリーキッズ」が母体となっています。

コロナ過によって、今までバイク仲間が集っていたイベントが軒並み中止となり、仲間同士の交流が失われてしまったことをきっかけに、少人数でも人が集まれる場をつくろうと立ち上げた【as one】。

オーナーの草野さんが開業当時から作り続けているカレーや、寒気の鍋ランチ、酷暑の時期は冷麦など立ち寄るライダー目線に立った月替わりメニューがこだわりです。

ワタシのおすすめはタルトやパフェ、パウンドケーキなどその時々の季節のフルーツをつかったスウィーツ。

テイクアウトメニューもあるので、鈴鹿山麓の風景を満喫した折には、ぜひお立ち寄りください。



Riderscafe as one

鈴鹿市山本町13-6

営業日:土曜／日曜

9:00-17:00



猿田彦ファーム株式会社
〒519-0316三重県鈴鹿市小岐須町990番地
代表：伊藤 嘉晃（いとうよしる）
直通Tel:090-1835-0277



猿田彦ファームかわらばん2025～弥生～



こんにちは、伊藤です。

ここにきて随分と冬らしくなったかと思いきや
いきなり気温18°C越えの日が来て、春到来。
もう半袖かと思いきや、また寒波。
アップダウンの激しい天候が続きますが
体調を崩さないようお過ごしください！



事件！大雪で溝にハマリました

この冬は全国的に寒波の影響を受け、雪の話題も多かったのですが、我らが小岐須町も例外ではありません。鈴鹿市の南部エリアとは全く違う気候で、雪国レベルの大雪に見舞われました。

それなりに雪の多いエリアで生まれ育った私ですが、一瞬の油断が命取り。社屋から出発した瞬間に横滑りして、溝にタイヤをハメました。幸い隣の方が重機をお持ちだったのですぐに引き上げていただき事なきを得ました。

素晴らしい集落の助け合い。



狩猟イベント開催しました

昨年から親子向けの狩猟体験イベントを開催していましたが「大人向けはありませんか？」というお声もいただいたおりました。

全国に狩猟免許所持者は15万人いますが、実際に狩猟をやっている人は2~3万人程度と見られ、その7割は65歳以上という現実。このまま10年、20年と経てば中山間地の暮らしや農業はなりたなくなってしまうでしょう。

少しでも現役世代に「狩猟」の世界を体感してもらい興味をもっていただく為のイベントとして、本年より取り組んでいる「チョイトひと狩」略して「チョイ狩」。第1回、第2回ともに好評をいただきました。獣害の実態や狩猟について、小岐須を舞台に学んでいただき、各地で活躍できる猟師が現れてくれたなら嬉しく思います。



Thank You!





鈴峰地区で生業を営む皆様をご紹介するこのコーナー。

今回は植木卸販売業を営む**沖植物園様**。

植木に適した気候を持つ鈴鹿市。特にこの鈴峰地区の土質はツツジ科の生育に適していて、実は全国屈指の植木生産地。

代表の沖俊直さんは先代から事業を引き継ぎ、家庭の庭の植木から建売物件の植栽、街路樹や商業施設の緑地等、全国に向けて様々な植木の流通を担っています。



この事業の大変なところは、お客様からの急な注文に対して、柔軟に在庫を確保することが難しいこと。お客様の要望するサイズに対して、植木が大きすぎても小さすぎてもダメ。急に発注があっても、急に植木が育つわけではありません。まさに生き物を取扱う事業につきまとう難しさです。



SARUTAHIKO



一方で、この事業は全国のたくさんの人と知り合える機会があり、助け合えるのが魅力とも話す沖さん。

運営する全国的に珍しいモデルルーム形式の庭園展示場『Green&Smileさんぽ道』にも多数の造園業社が思い思いのモデル庭園を展示しています。

この試みにも沖さんの理念が活かされていて、同業他社は敵ではなく、共に助け合って業界全体を盛り上げています。

そんな中、生育している植木が鹿の獣害に遭うこともあるそうで、私たちも捕獲活動・ジビエ事業を通じて沖さんを応援していきたいと思います。

Green&Smile さんぽ道

〒519-0315

三重県鈴鹿市山本町151

電話：059-371-0610

営業時間：8:00～17:00



猿田彦ファーム株式会社

〒519-0316三重県鈴鹿市小岐須町990番地

代表：伊藤 嘉晃（いとうよしる）

直通Tel:090-1835-0277



猿田彦ファームかわらばん2025～卯月～

こんにちは、伊藤です。

いかがお過ごでしょうか？！

桜も色づき春ですね。花見はされましたか？！

今日も元気に『猿田彦ファーム』の様子をお伝えさせていただきます。



事件 大雪の後、沼りました



雪解けした後日。

いつも農地の中をガンガン進んでいく軽トラックですが、積雪後じっくりと水分を含んだ耕された土の上ではそうはいきません。

四駆でも全く通用しない沼り具合で、4本のタイヤがしっかり土の中に沈み込み、進もうとすればするほど車体が下に沈んでいきます。

押せども引けども、めり込んでいく車体と自分の足。久しぶりにトラクターを出動させ牽引してなんとか脱出、事なきを得ました。素晴らしい重機。

自然環境きびしい中山間エリアの生活では重機が必須であることを思い知らされました。



町の子供会にご利用頂きました

卒業シーズン到来。

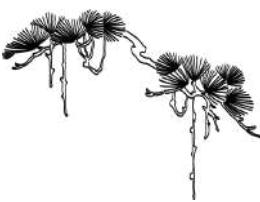
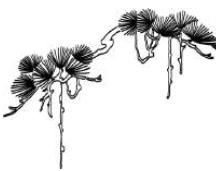
我らが小岐須町の子供会でも小学校卒業生の送迎会開催に際して、私たちのジビエ料理をご依頼いただきました。

当日が雨天だったため屋外での開催は叶いませんでしたが、鹿肉を使ったカレーや唐揚げを食べてもらうことができました。

また新しい環境に入っていく子供たち。

故郷の食材を成長の力に変えて、頑張ってもらえたなら嬉しく思います。





鈴峰地区で生業を営む皆様をご紹介するこのコーナー。

今回は椿大神社のお膝元、鈴鹿市山本町にある**和菓子店**、この地域の**名物**でもある**椿草餅**を製造する『春泉堂』様を訪問させていただきました。

お話を伺ったのは**創業明治32年から112年続く5代目、山北さん**。

今となっては有名な草餅も、創業当初は商品ラインナップにはなかったのだとか。元々この地域では法事の際に**草餅**を各家庭で作って参列者に**振る舞う風習**があり、代行して作り始めたそうなのですが、いまから50年余り前のある時、法事で出す草餅を作りすぎてしまい、それを当時の**椿大神社の宮司**に相談したところ、神社の境内で販売してみることに。

結果は思った以上に**好評**で、当時**丸型**だった形からより**縁起の良い『小判形』**に変わり、本格的に草餅を製造することになったそうです。

災い転じて福となした縁起物の椿草餅は、椿大神社の主祭神猿田彦大神の**ご利益**なのかもしれませんね。

国産原料と極力食品添加物を省いて製造される春泉堂の和菓子たち。

「**100年続いた歴史を絶やすことのないよう、その味を守っていきたい**」と語る山北さんは、今日も鈴峰の地で和菓子づくりを続けています。



『春泉堂』

三重県鈴鹿市山本町1200-1

AM8:00～PM6:00

水曜定休

※製品は椿大神社併設の『椿会館』
および参道の『椿茶園』

土日のみ

鈴鹿ハンター内『ゑびすや』

亀山市『甚八』

でも購入することができます。



猿田彦ファーム株式会社
〒519-0316三重県鈴鹿市小岐須町990番地
代表：伊藤 嘉晃（いとうよしてる）
直通Tel:090-1835-0277





さるたびこ 猿田彦ファームかわらばん2025～皐月～

こんにちは、伊藤です。

最近雨の日も増えて、一気に蚊が湧き始めましたね。蚊や蝶が嫌いな私は一回耳元にこられると、叩くまで気が済まない性分です。食べ物や血はあげるから、せめてうるさくしないでくれって思いませんか？笑逆にうるさくしなかったら、彼らも敵視されることもなく、寿命も伸びると思うんですが・・・



事件：お客様が落ちました



ここ最近、車がハマる事件ばかり取り上げておりますが、今回はお客様が牽引するキャンピングトレーラーのタイヤの片方が道から脱輪して動けなくなってしまいました。

1トン以上ある車両。人力でどうにかなるレベルではなく、レッカーや業車も対応不可。

困り果てた挙句、私自身も何度かの脱輪を助けていただいた、我らが小岐須町の皆さんに助けを求めました。

連休中にも関わらず、町の皆さんに重機を動かし、資材を持って駆けつけていただき、トレーラーを持ち上げ、なんと無傷で救出していただきました。神奈川県から来ていたお客様も、お掛け様で良い思い出で帰っていただくことができました。都市部ではありえない、困った時の連携力や問題解決能力は、この町の宝です。ご対応いただいた町の皆さんには重ね重ね感謝いたします！

“ゆざらい”に参加しました

今年も田植え時期前恒例の“ゆざらい”が行われました。御幣川から取水し、各農地に行き渡る水路を整備する、古来からの伝統行事ともいえるこの活動。雨の多い小岐須では泥も水路に溜まりやすく、その掻き出しは本当に大変な作業です。物価高が続く不安定な社会情勢において、地域での農業“食料を自分たちで作れる”ということは本当に大きな安心感です。

こうした古来からの行事が、町の暮らしを支えているということを改めて実感いたしました。



すず みね ふもと びと

鈴之峰の麓人



鈴鹿山麓で事業を営む方を紹介するこのコーナー。

今回は私も大好きなスポット “小岐須渓谷” にて、絶景ロケーションでのサウナサービスを提供している鵜飼真士さんを訪ねました。

亀山市で生まれ育ち、上京しプログラマーとして就職した鵜飼さん。

コロナにより仕事は在宅ワークとなり、人と関わることが一切なくなってしまったそうです。

「一日中家にいて、気がつけば、その日に話したのはコンビニで “レジ袋はいらないです” と発した一言だけ。そんな日が続きました。」と語ります。

人間らしさを失った生活と、そんな環境でも活躍する周囲の同僚との才能の差に少しづつが荒っていく日々。プログラマーを続けていくのにも限界を感じ

「好きなことなら突き抜けられる。地元に戻って熱中できることを仕事にしよう。」

そう思い立ち独立を決意したそうです。

アウトドアブームが到来し、自身が大好きなサウナにビジネスチャンスを感じた鵜飼さん。

地元亀山市や鈴鹿市の渓流をとにかく車で走り回り、様々な候補地を探し、最終的にたどり着いたのは小岐須渓谷。

最高のロケーションに一目惚れし、すぐさま地権者に連絡を取るも、答えはNO。

それでも諦めきれず1年間粘り、お願いし続けて開業のお許しをいただいたそうです。

このサウナのこだわりは圧倒的なプライベート感。

1枠1組限定のこのサービスは、誰にも邪魔されるとなく雄大なロケーションを独り占めできること。

そして、鵜飼さん自らがお客様にヒアリングし一人一人の希望をできる限り叶えてあげるホスピタリティを大切に、最高に“整う時間”を提供しています。



私たちと一緒に、鈴鹿山脈の自然を活かしたアウトドア事業を始められた鵜飼さん。ぜひ一緒にこのエリアの魅力を発信していきたいと思っています。

～亀山ままさま絶頂サウナ～

三重県鈴鹿市小岐須町祓塚

小岐須渓谷キャンプ場手前

営業期間：4月～11月

1部 10:00～13:00

2部 13:30～16:30

※各枠1組限定（4名までを推奨）

ご予約はLINEから



猿田彦ファーム株式会社

〒519-0316三重県鈴鹿市小岐須町990番地

代表：伊藤 嘉晃（いとうよしる）

直通Tel:090-1835-0277



さるたひこ

猿田彦ファームかわらばん2025～夏越月～

こんにちは、伊藤です。

雨の日の合間の晴れ間、やっと外で仕事できるかなと思ったら爆風。支柱は倒れ、テントは吹き飛び骨は折れ。

今更ながら、本当に一次産業の難易度MAXな場所だと痛感します。

しかし、昔の人はこの環境を活かして生きてきたと思うと、まだまだ活路はあるはず。

倒れるなら前のめりで突き進みます！！



昨年冬から**3回目**となる親子向けの狩猟体験

「リトルハンターズ・アドベンチャー」を開催しました。今回は**5組の家族**が参加され、子どもたちが**自らの手**で野生の鹿を捕獲し、命を止める**瞬間に**立ち会い、**解体**して、**食べられるお肉**に変えるところまでを**体験**しました。名古屋、大阪といった都市部で生活する子どもたちにとって**小岐須の自然豊かな環境**でのフィールドワークは**冒険**そのもの。



大はしゃぎしていた子供達も、実際に罠に捕獲されたシカを前にし、命を止める瞬間を迎えた際には真剣な眼差しとなり、命の重さや食べることの本当の意味を、この体験を通じてそれぞれに感じ取っていたようです。最後には小岸大神社にて手を合わせ、与えていただいた命を自分の命に変えさせていただくことに感謝し、子どもたちは帰路につきました。

今回の様子は、CBCテレビ放送に密着取材していただき、5/23に“newsX”にて放送されました。

(パソコンまたはスマートフォンにて6/22まで見逃し配信)

別件ですが5/17にはNHK

“有吉のお金発見 突撃! カネオくん”

にて、鹿肉のハンバーガーを取り上げていただきました。カネオくん史上、最もお金の無いところへの取材だったかと思いますが、私たちの活動を通じてこの町の魅力を多くの方に知っていただける機会になれば嬉しいです。

二 からを読み取るとご監いただはま





鈴鹿山麓で事業を営む方をご紹介するこのコーナー。

今回は鈴鹿銘物のひとつでもある“椿こんにゃく”様を訪問しました。

鈴鹿市山本町にある椿こんにゃく。

鈴峰地区を見渡しても、田んぼとお茶、植木畠はよく見ますが、あまり“蒟蒻”を作っている印象はありません。「昔はお茶畠の畝間に蒟蒻を植えて、各家庭で栽培していたんだよ」と語るのは、3代目の代表となる豊田雅三さん。

それを取りまとめて販売を始めたのが昭和2年。椿大神社の宮司と親交のあった先代が境内でお土産物として販売を始めたのをきっかけに『椿銘物』として地域に定着していったそうです。

大量消費の時代になってこんにゃくの製造も機械化が進んだが、こんにゃくの仕上がりや味を左右する根幹となる工程は今も尚、職人による手作業での仕上げ。

昔ながらのこんにゃくの製法を守り続けています。重量もあり、長期間の保存というわけにもいかない蒟蒻は、**地域密着の食材**。



30種類以上のラインナップがあるそう

できる限り**地産地消**を心がける豊田さんは原料の一部を**自らも栽培**し、地域の生産者とも連携。原材料や水質にもこだわっています。

今では大手量販店や物産店での販売のほか、市内小学校の給食にも使用されている椿こんにゃく。**『鈴鹿銘物』**となったこの先も

「うちは小さくやっているから、お客様の細かい要望に答えられるのが強み。

他にはないアイディア製品もあるので、コンセプトショップを造って椿大神社さんに来られる全国の方に知ってもらい、ECサイトでの販売や贈答品としても使えるものにしていきたい。」との展望をお話していました。

地域に根付いた特産品を守り、そして発信し続ける豊田さん。

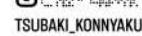
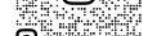
私たちも地域の魅力を多くの方に伝えられる存在となるべく、**邁進してまいります！！**



～椿こんにゃく～



Instagram



三重県鈴鹿市山本町 208-48

TEL 059-371-1059

営業時間 9:00-17:00

定休日 水曜日

猿田彦ファーム株式会社

〒519-0316三重県鈴鹿市小岐須町990番地

代表：伊藤 嘉晃（いとうよしてる）

直通Tel:090-1835-0277





さるたひこ

猿田彦ファームかわらばん2025～七夕月～

たなばたづき



こんにちは、伊藤です。

なんだか梅雨に入ったかと思いきや、一瞬で灼熱の夏日が続いていますね。「ずっと続くもの」として私たちの感覚の中に当たり前にある「四季」や「季節の移り変わり」も、永久に繰り返すものではなく、少しづつ地球の運航とともに変化していくモノなのだと実感します。

毎年ゲリラ豪雨で全身水没しますが、それもなんだか気持ちいいと思える私は、変化に適応できているのか？？



町づくり委員会に参加しました

獣種	捕獲数
ニホンジカ	41
イノシシ	12
タヌキ	3
アライグマ	1
テン	2

1/1～6/15現在



・アナグマがアナグマに釣られました♡・

以前ご紹介した飼育中のアナグマ（♀）。

この時期はアナグマにとって恋の季節のようで、飼育している檻の前にアナグマ（♂）の姿が。

どうやら2匹くらい通っているようです。

普段目にする事の少ない動物ですが、こんなにいたことに驚きです！！



見学 大歓迎です！！



すずみねふもとびと 鈴之峰の麓人



鈴鹿山麓で事業を営む方をご紹介するこのコーナー。

今回は椿グリーンパークを営む近藤緑化株式会社様を訪問しました。

代表の近藤敏さんの生まれば市内石薬師町。植木生産を担っていた家庭でしたが、造園会社に修行に出たことをきっかけに独立。

個人宅の造園だけでなく、鈴鹿市近隣の学校、道路、公共施設などの緑地施工、施設設計も担う会社に成長させました。

本業で得た知見を使って美容・健康・環境分野にも進出。

タブノキから抽出したエキスに関する各種特許を取得するなど、研究熱心なお人柄が伝わるお話を聞かせていただきました。

鈴鹿山麓に開設した椿グリーンパーク。

「実は、敢えて近藤緑化が運営しているとは表には出していませんよ。」と語る近藤さん。

その理由を訊くと、既存法人の実績とは関係なく、一からこの鈴鹿山麓地域のためにチャレンジしたいのがこの公園事業だから。

人口減、政治の混迷、経済の弱体化など、国力低下の一途を辿る我が国。

明るい未来が見通せない現代において、成熟し切って資源の生産能力のない都市部に可能性は少ない。まだ手付かずの「地域」の強みを活かした新たな観光事業の開発にこそ活路があると言います。

「“遊具の一つもないじゃないか”と言われることがある。でもね、そういう人にはこう言っている。何もないからグリーンパークなんです。何もないこの場所は、今までにない新しいことに使える。」

地域の役に立ちながら地域を変化させるアイディアの尽きない近藤さん。

地域振興を志す大先輩に背中を見せていただいた訪問でした！！



伊藤 近藤さん

～椿グリーンパーク～



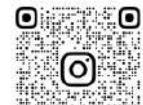
三重県鈴鹿市山本町 202-55

TEL 059-371-0048

営業時間 9:30-17:30

閉園日 月曜日

Instagram



CHUNGURINPAKU70



猿田彦ファーム株式会社

〒519-0316三重県鈴鹿市小岐須町990番地

代表：伊藤 嘉晃（いとうよしてる）

直通Tel:090-1835-0277

THANKS



さるたひこ

猿田彦ファームかわらばん2025～葉月～

はづき



こんにちは、伊藤です。

椋鳥の群れの襲来により、一時は壊滅したブルーベリーですが、その後【防鳥レーザー】を導入し、飛来する鳥を撃退。遅成の品種は順調に生育が進んでいます。(夜中に見ると、緑色のレーザーの照射が四方八方に飛んで面白いです。) やっていることは昔ながらのやり方の多い弊社事業ですが、生き残りのため、新しいテクノロジーにもアンテナを立てていきたいと思います。



神社の修繕活動に参加しました

町の氏神、延喜式内社『小岸大神社』。

社殿が老朽しているため、町の有志によって修繕作業が進められています。

山の麓に位置し、湿気も多いため老朽も早く雨の当たらない建物は蜂やアリの格好の根城となります。

外壁をはずしてみると、柱がスカスカに空洞化されており、薬剤を噴霧すると夥しい数のシロアリが穴から這い出していました。

まだまだ修繕作業は続きますが、こうした建築土木工事が住人の協力で完結してしまうところが、この町のすごいところです。



猪捕獲するも、罠を壊され逃走

町内の畠を猪が食害しており、特に定植中のサツマイモの苗が狙われるところで、自治会の要請を受けて箱罠を設置しました。

そして3日後、見回りに行くと扉が半開きの状態で壊っていました。

扉は開かないようにストッパーがかかっていたのですが、それも弾き飛ばしての破壊、相当な大きさの猪だと思われます。

継続して捕獲活動を行なっていきます。





すずみねふもとびと
鈴之峰の麓人



鈴鹿山麓で働く人をご紹介するこのコーナー。

今回は鈴鹿市追分町で保険業を営むジャパンコミュニケーションズ（株）様を訪問しました。

この仕事の良いところは「誰かの人生に深く関わることができること」と話すのは
営業統括部長の湯原典弘さん。

元々大手飲食グループの店長として働いていた湯原さんは、アルバイトの学生たち
が仕事を通じて日々成長する姿に喜びを感じる中「自分はこのままでいいのだろう
か」「自身も成長したい」と一念発起。世界一周の旅を経て、自分自身を成長させる
チャレンジ、保険業の世界に飛び込みました。

SARUTAHIKO
業界の知識・経験はゼロ。愛知県で生まれ育った湯原さんには人脈もありません。
飛び込み営業で断られる辛さに心が折れそうになることもあったそうですが
「今思えば断られて自分が成長するために飛び込み営業をしていたのがわかる。
たくさん的人に鍛えていただきました。」と語ります。



全国で星の数ほどいる代理店が同じような保険商品を扱っている。
そうした中で選ばれるコツを聞くと
**保険の本質は「人」。「あなたに任せる」と言ってもらうには他の人
以上に、自分がその人に何をしてあげられるのか常に考える。**
交通事故の現場にも昼夜問わず飛んでいくので完全な休みもなかっ
たり、保険金が出ないと言われたのを本社に掛け合ったりと大変な
ことも多いが、**その人のために今できることをすべてやる。**
そんなことが当たり前にできる「人」に自分がなれているかどうか、
その差だと教えていただきました。

今後は**鈴鹿一、三重県一**の代理店を目指してご縁をいただきたい
た方の人生を伴走したいと話す湯原さん。

肉体労働を生業としていたり、車がなくては生活できないこのエリアに**安心**をもたらしているジャパンコミュニケーションズ様の一員として、たくさん的人に**信頼**されているその姿に、私も学ぶことが多いインタビューとなりました。

数々の代理店表彰を受賞



ジャパンコミュニケーションズ株式会社
〒519-0313 三重県鈴鹿市追分町2208番地の57
TEL 059-371-0924
FAX 059-371-2958
営業時間 9:00～17:00
定休日 土・日・祝



猿田彦ファーム株式会社
〒519-0316 三重県鈴鹿市小岐須町990番地
代表：伊藤 嘉晃（いとうよしる）
直通Tel:090-1835-0277

THANKS



さるたひこ

猿田彦ファームかわらばん2025～稻刈月～

いねかりづき



こんにちは、伊藤です。

やや暑さも和らぐ日もありますが、まだまだ暑い日が続きますね！あまりの発汗量に服もずぶ濡れになるので、もうこのままで放水されても全く問題ないことがわかりました。
そして放水されている最中に微妙にかかる虹。
もう爽やかなのか、暑苦しいのかよくわからない絵ですがご堪能ください。



音楽イベントを開催します♪



一昨年開催したマルシェ&音楽イベント【Berry Good!!】
極寒の1日となったにもかかわらず、のべ500名の方におこしいただきました。

そして来る**10/4、【Berry Good!!2025】**の開催が決定。

まだ学生だった主催メンバーの鈴鹿の若者たちも社会人となり、多忙な合間を縫って、夜な夜な祭典の準備に勤しんでいます。

今回も多様な音楽とFOOD、雑貨や衣類などのマルシェを、鈴鹿山麓の自然の中で楽しんでいただければと思います。

入場料1000円 前売券はワンドリンクとステッカーがつきます。

※町内の皆様は住所のわかる身分証の提示で入場無料です。

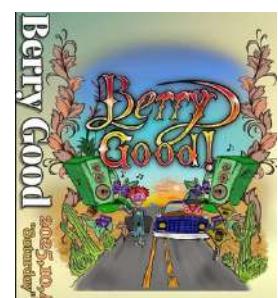
日時：10/4 11:00-20:00

場所：猿田彦BASE

SARUTAHIKO
ONE AND ONLY
OUTDOOR EXPERIENCE



↑前売り券見本↑



↑フライヤー(チラシ)見本↑
持参で入場無料になります。
お待ちしております。



自治会の罠で初捕獲

先般破壊された罠の代わりに、自治会で購入いただいた箱罠。このタイプは出入口が格子ではなく、ツルツルの金属板のため、猪が鼻で扉を持ち上げられず、抜けられにくい構造です。

そしてついに**初捕獲**！小さなウリ坊（猪の子供）だったので、この周辺の獣害の元凶となっている母親ほか数匹のウリ坊がまだ徘徊しているはず。引き続き捕獲活動を継続していきます。





すず みね ふもとびと

鈴之峰の麓人



鈴鹿山麓ではたらく人をご紹介するこのコーナー。

鈴鹿市花川町でNPO法人 鈴花が運営する福祉施設、就労継続支援B型事業所の【ベルフラワー】様を訪問しました。

代表を務めるのは、前回紹介させていただいた湯原典弘さんの奥様、**湯原智美さん**。

「困っている人を助けてあげなければいけないと想い込んでいました。

活動を続ける中で、どういう人であっても、そもそも既に力を持っていて、その力や強みを自分で気がついていないだけなど知りました。」とお話しされます。

保育士の傍ら、お花好きで始めた花の講師業。

地域コミュニティが希薄になった昨今、お花を通じて知り合った受講者さんたちのつながりが広がっていく様子に「**お花のつながる力はスゴい！**」と感銘を受けた智美さんは、花を通じた地域コミュニティづくりを思い立ちます。



熱い想いを市の農林水産部門にプレゼンしたところ活動の実績を認められ「確かに、私個人の想いだけで何の実績もない」と、立ち上げたのが現在のNPO法人。

最初は活動の費用もなければ場所もない、地域の人からも何をやろうとしているのか理解されない。

無い無いづくしても、とにかく今できることに全力で突っ走る智美さんに仲間の助けと様々なご縁が運ばれていきます。気がつけば、自分で予想していたよりはるかに早い段階で就労継続支援施設の開業に漕ぎ着けることができました。



「最も大切にしていることは、みんなが自分らしく在ること」と語る智美さん。

自分も、スタッフも、利用者も、肩書きや立場で生きるのではなく、

「本来のその人として生きられる場づくりを心がける」その理由を聞くと、

「私たちが扱っているのは花だけでなく、みなさんお一人お一人違う人だから。

その人らしく生きるには、**必要最低限のルール以外マニュアルはつくれないんです。**」

ご縁のあるたくさん的人がベルフラワーに共感共鳴し、自分自身の可能性を発見する場となり、かつての植物のお花を咲かせる活動は今、人の中に種や蕾を見つけ、
その人の力を開花させるお仕事になりつつあります。

今後も地域の中での役割、つながりを膨らませたいという智美さんの言葉に【鈴鹿山麓のこの地域をもっと良くしたい】という、私と同じ想いを聞かせていただき、嬉しい取材となりました。

特定非営利活動法人 鈴花

〒513-1122 三重県鈴鹿市花川町1541-35

TEL 090-5639-1340

営業時間 9:00~14:30

定休日 土・日・祝日



@SUZUHANA2020

★イベント情報★

夢むすびマルシェ



多肉植物販売・各種ワークショップ出展

日時：2025年10月18日 10:00-15:00

場所：特定非営利活動法人 鈴花



@BELL_FLOWER_SUZUKA

THANKS



猿田彦ファーム株式会社
〒519-0316 三重県鈴鹿市小岐須町990番地
代表：伊藤 嘉晃（いとうよしてる）
直通Tel:090-1835-0277



さるたひこ

猿田彦ファームかわらばん2025～神嘗月～

かんなめづき



こんにちは、伊藤です。

明け方や夕方はだいぶ涼しくなってきましたが、それでも雑草たちの勢いを弱めるほどではありません。

もう、この夏に何度も同じ場所を草刈りしたら良いのか。

なかなか管理も追いつかないなか、ここから冬の強敵「コセンダングサ」が着々と開花の準備を進めています。

この種子が服に大量にくっついたのを取るのがなにより時間を消耗するという。。。



9/27-9/28に四日市ドームで開催された四日市徹夜踊り、通称【よんてつ】。

日中様々なダンスの発表のほか、夜は擂台を囲んでの擂踊りが催され、そして驚くべきことに四日市ドーム外周で行われるマラソンも徹夜で行われると言う常軌を逸した祭典となっています。

第9回目となる今回、私たちも露天を出展して「冷やし芋」を販売しました。

コロナ騒動が明け、年々と参加者が増えてきているという民間発のこの催し。

この規模のイベントとなるとその準備や撤収も尋常な仕事量ではありませんが、住民や事業者が協力して地域を盛り上げようと夜間通して奉仕する姿と、なにより継続して続いていることが本当にすごいと思いました。



前回ご報告のウリ坊を捕獲後、周辺においても数匹の猪を捕獲していました。私としてはせっかく購入いただいた自治会の買で、できればかかる欲しい・・・という思いもありますが相手は野生の動物、なかなか思うようにいかず、空振りな日が続いていましたが先日2匹同時の捕獲に成功しました。

しかし、一度に多数の子供を産む猪を減らすのは容易ではありません。

これから狩猟期間に入り一般のハンターも捕獲活動を始めますので、来年は少しでも被害が減ればと願っています。





すずみねふもとびと

鈴之峰の麓人



鈴鹿山麓ではたらく人をご紹介するこのコーナー。

鈴鹿市岸田町の社会福祉法人微笑会が運営する【きしだこども園】様を訪問しました。

60年の歴史を持つこの場所の「すべての原点はおじいちゃん」と語るのは園長の真昌一竜さん。全く畠違いな仕事をしていた一竜さんがこの仕事をすることとなったのは、結婚を機に真昌家の婿養子となしたこと。

「おじいちゃん」と呼ぶのは、きしだこども園の前身となる「岸田保育園」を創業した義理の祖父、故・真昌智海さんです。

【真念寺】というお寺の住職だった智海さんは、地域の檀家からの「お寺で子供を預かれないか」という要望を受けて子供を引き受け出したのが【きしだこども園】のはじまり。

今から15年ほど前には200人を上回る子供たちが通園していたそうです。



しかし、深刻な人口減少の影響を受ける鈴鹿市北西部。子育て世帯が減り、通園する子供たちの減少も続く現状、経営上の不安を感じると言います。

「私は園長となってまだ3年、いわゆる経営者としての経験も浅くさまざまな学びの毎日ですが、おじいちゃんの残してくれた『園』と地域の『縁』、そしてベテランの職員さんたちが私を支えてくれています。」

智海さんへの恩返しの意味でも、この園を時代に合わせて変化させることが必要だという一竜さん。



運営する上で大切にしていることを伺うと

「もちろん、経営をしっかりと続けることは大前提ですが、おじいちゃんが大切にしていた3つの言葉、子どもの笑顔、職員さんの笑顔、地域の人の笑顔。

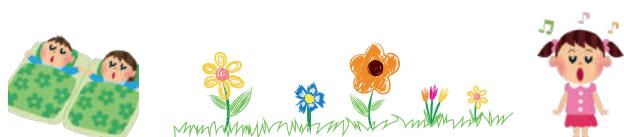
この3つから遠ざかるような運営をしてはいけないと思っていますし、つながりを大切に、地域のハブとなれるような園にしていきたいです。」と語っていただきました。

お話を終り、子供達が音楽の練習をしたり、まだ年齢の幼い保育クラスでは保育士の先生に見守られながらお昼寝をする子供達の様子をご案内いただきましたが、本当に大変なお仕事であるとともに、この国の未来を担う本当に貴重な宝を育む、大切な仕事であると感じました。

「この仕事を継ぐことを決めたのは、子供達の純粋な笑顔に惹かれて、だったのだと思います。」と一竜さん。

これから直面するさまざまな課題はありますが、子供達の元気な音楽の音色がいつまでも聴こえてくる園であってほしい。

私もこの地域の子供達の過ごす環境を知ることができ
学びの多い取材となりました。



社会福祉法人 微笑会



きしだこども園

〒513-1121 三重県鈴鹿市岸田町1491

TEL 059-374-1955



↑きしだこども園Instagram↑

猿田彦ファーム株式会社
〒519-0316 三重県鈴鹿市小岐須町990番地
代表：伊藤 嘉晃（いとうよしてる）
直通Tel:090-1835-0277





さるたひこ

しもづき

猿田彦ファームかわらばん2025～霜月～



こんにちは、伊藤です。

11月、狩猟の業界では「猟期」といって、狩猟をやっても良い期間に入ります。

狩猟免許を持った色々な方が付近の山林や田畠付近に出入りしますし、山から銃声が聞こえてくる時期になります。私たちの猟友会グループでは通常人が立ち入らないエリアで銃猟を行っています。

概ね10時～12時くらいのことが多いですが、何かお気づきのことがあればお知らせください。



小岐須町年一回の祭典である秋祭に出展させていただくのも3回目。毎回おなじメニューですと皆さんも飽きてくると思いましたので、今回は趣向を変え猪のドライカレー、猪唐揚げ、猪角煮（失敗してバラバラのそぼろになりました）の猪づくして提供をさせていただきました。

今年は昨年に比べて猪の発生が多く、倍のペースで捕獲しています。町のみなさんの菜園を荒らしまわった個体なのだろうとは思いますが、彼らもまた生きるために、見つけた食料を食べたという、自然の理に基づいた行動を取ったにすぎません。

自然と私たち人間の生活のバランスを取るためにいただいた命、せめて美味しくいただいてもらえたのなら、とても嬉しく思います。



といっても、鶏肉料理を始めたわけでも、養鶏を始めたわけでもありません。

私の古くからの友人が番いで買い始めたものの「住宅街に住んでいて早朝から大音量で鳴くため、近所迷惑になるから早急に手放したい、飼えないか？」との相談を受けました。飼えないなら山に放つというので、それならばと（あまり）使われていない弊社ドッグランに放鳥。

雨でも関係なく元気に徘徊しています。

さすがに鈴鹿山麓の冬を無防備で越せないとと思うので、雪が降る前に防寒対策をしたいと思います。



すずみねふもとびと

鈴之峰の麓人



鈴鹿山麓ではたらく人をご紹介するこのコーナー。

鈴鹿市花川町、500種類以上の植物を扱う園芸店【はるみ園】様を訪問しました。

はじめは鈴鹿市にもたくさんいる植木生産者の一つでしたが、バブル期の終焉とともに「自分達の愛せるものを育てよう」とお花の生産を始めたのが両親でした、と語るのは3代目にあたる山越尚子さん。

かつて尚子さんは広告代理店に勤め、現在とは全く畠違いなお仕事をされていたそうです。

「営業先に広告の提案を持っていっても断られ続けて落ち込む毎日でしたが、そんな中もっていった実家のお花を買っててくれる方がいて【お花を売ってる時は顔の表情も柔らかい】そう言われた時、私は営業職じゃなくてもいいんじゃないかな?と思ったんです。

きっと険しい顔で広告を提案していたんですね(笑)」

自分の好きなお花を仕事にするべく、はじめは反対していた両親を説得し、家業のはるみ園で働くこととなったのです。

そこで役立ったのが前職の知識と経験。

はるみ園の広告宣伝をご自身で担当されていて、人生に無駄はないし、一次産業の現場にこそ求められるスキルだと実感していると話されます。

12年目の現在では、口コミで広がっている植物の寄植え教室が繁忙期には月間10箇所以上の人気体験講座になっていて、大忙しの尚子さん。

ご自身の天職が最も身近にあったはるみ園だったのです。



「この仕事の良いところは、植物を買いに来てくださるお客様の笑顔や、生育をサポートしている植物たちの成長と変化に気付くことを通じて、心が豊かになることだと思います。植物は動けないし、喋ることもできませんが、人間よりもずっと逞しく生き抜く力がある一方で、私たちの一回の管理の誤りで枯れてしまう弱さも併せ持っています。」
そうした植物の姿から日々学ぶことが多いのだとか。

実は鈴鹿で育った植物は鈴鹿ではほとんど買えないそうで、地域の人にこそ地元で育った植物を側に置いて心を豊かにしてもらえるようにしたい、と尚子さん。

これからクリスマスや年末年始にむけて、たくさんの寄せ植えもご用意されるそうです。

園内にいるだけで、色とりどりのお花に心癒されるはるみ園。ぜひ一度訪れてみてはいかがでしょうか?

〒513-1122 三重県鈴鹿市花川町100

有限会社 はるみ園

営業時間 AM9:00~PM4:00

TEL 059-374-3917



↑はるみ園Instagram↑

猿田彦ファーム株式会社

〒519-0316 三重県鈴鹿市小岐須町990番地

代表: 伊藤 嘉晃 (いとうよしてる)

直通Tel: 090-1835-0277





さるたひこ

猿田彦ファームかわらばん2025～師走～

しわす



こんにちは、伊藤です。

ここにきてカメムシおよびアカイエカの大量発生にドン引きしておりますが、なんかもういちいちティッシュで・・とかホウキで・・とか面倒になってきて、素手で掴んで窓の外に投げる、匂いを出す前に、みたいな対応になってきました。

カメムシ多い年は雪も多いと言われますので、早めのスタッドレス交換をして、脱輪しないように備えます。

新嘗祭に参加しました



11/23勤労感謝の日は、戦前まで『新嘗祭』という祭日で、皇居宮中および全国の神社にて、新穀を捧げて命の糧を得られた感謝を祈る祭祀を行う日でした。全国の神社は約8万社（末社含め20万社）。コンビニの数よりずっと多く、日本のどの町にいても半径8km圏内に1社はある計算になるそうです。

これほどの数の神社があるのは、**この国の人々が自然からの恵みと今日を生きられることへの感謝を大切にする民族だからではないでしょうか。**

小岸大神社においても同様に、町の代表者が集い、全員の手を介して供物を捧げる習慣が残されており山や水源の恵みによって人々が生かされてきた事実を改めて感じさせられる祭祀となりました。



親子向け狩猟体験を行いました



同日、親子向け狩猟体験講座を開催。

今回は富山県から二家族が参加され、入山、下山の際には小岸神社にて学びをいただくことへの感謝と行程中の安全を祈願するとともに、神社の由来と太古の昔からこの地に住む人々にとってとても大切な場所であることをお伝えしました。

4回目となるこの体験講座には全国からリピーターの方も参加されました。都市部での生活で**私たちが忘れてしまっている大切な学びがある**、来年も開催されるならぜひ参加したいとのご感想もいただきました。

小岐須の自然を通して与えることのできる価値、丁寧にお伝えをしていきたいと思います。



歩け歩け大会のサポーター参加



例年秋に開催されている鈴峰地区の体育行事「歩け歩け大会」。本年より「体育委員」のお役も合わせて拝命いたしましたので運営サポーターとして参加しました。

実際のところ関わったことがなかったので、小さな集会かと思って完全にナメていましたが、集まるここと400名弱。

老若男女共々、小岐須町公民館から椿地区を経由して一周し、秋の晴天（この地区らしく強風に見舞われましたが）の中、健康増進のイベントとなりました。

祭が地域活性のカギといわれますが、人が集う活力がさらに人を呼ぶ、良いスパイラル繋がる可能性をこの地域に感じました。



早、師走。

まばたきした瞬間に終わっていくこの12月ですが、今年の最終号となりました。

この一年を振り返ってみると、狩猟体験講座やイベントの本格化、YouTubeによる動画配信を始めたり、各種メディアに取り上げられる、アナグマやニワトリを飼い始めるといった「光の面」だけでなく、その裏側には数々の珍事件や苦難もあったわけですが、多くの方のご協力や出会いのお陰様で「なんとか今年も生き延びたな・・・」というのが正直な感想です。



思えば私が鈴鹿に来たのも、鈴鹿市出身の実業家の方との出会いでした。初めは農業を事業として軌道に乗せるべく活動をしていたわけですが、失敗の結果さまざまな展開に発展し、事業が増えすぎて職業を聞かれても困る・・・という状態に。

良くも悪くも、人生の転換点は「ご縁」によって訪れ「ご縁」で決まると言っても過言ではないと感じています。

そんな私の人生を変え、鈴鹿に移るきっかけをくれた方からのお声がけでこの11月、成功者でもなんでもない私が、200名弱の方の前で講演をするチャンスもいただくことができた中で、「都市部になくて、田舎にあるモノ」が求められていると確信しています。

私がこの地に来ることは「既に決まっていた」と思わせる出来事もありました。

亡き父の遺品から、6年越しに行つたことも聞いたこともなかった「椿大神社」の永久会員証が見つかったこと。

車で3分の位置にて事業をさせていただいているのは、この地で働くことが私の使命だったのだと思わざるを得ません。また新たな一年を大切に働いていきたいと思います。

皆様もどうか良い一年をお迎えください。



猿田彦ファーム株式会社
〒519-0316 三重県鈴鹿市小岐須町990番地
代表：伊藤 嘉晃（いとうよしてる）
直通Tel:090-1835-0277

